※令和４年度以降入学生用

学校番号	４１０

令和５年度　情報科

教科	情報	科目	情報Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「情報Ⅰ　図解と実習」　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

情報社会に生きている自覚をもち、積極的に授業に取り組みましょう。
　日常に起こりうる様々な問題について考え、予測・防止できる力を身につけてください。

情報社会で必要な技術を得るため、意欲的に実習に取り組みましょう。
　コンピュータやネットワークの仕組みを理解し、実習を繰り返し行います。
　基本的な技能を身につけてください。

２　学習の到達目標

(1) 情報の収集・処理・発信などの情報活用能力を身につける。
(2) 情報の収集・発信における問題点を理解し，それをふまえて適切な情報発信ができるようになる。
(3) 情報を主体的に活用し，情報社会に主体的に参加する態度を身につける。
(4) コンピュータの特性や情報通信ネットワークのしくみなどの基礎知識を習得する。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解し，技能を身につけているとともに，情報社会と人との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら，問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し，自ら評価し改善しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	情報社会とは	１．情報社会とは ２．SNSの普及と情報モラル ３．情報社会を支える法律	a：情報社会や情報社会で守るべきルールについて理解している。 b：情報の特性を観点に分けて説明することができ、スマートフォンやSNSの活用について考えることができる。 c：情報社会に生きていることを、身近な問題として捉え、学習に積極的に取り組もうとしている。	発問 ワークシート 行動観察 実技テスト	実技テスト ワークシート 実習作品	発問 ワークシート 行動観察
	情報デザイン	１．情報デザイン ２．情報を伝えるさまざまな手段	a：情報を伝えるための情報デザインの考え方や情報を伝える手段の特徴を理解する。 b：収集した情報を，伝える対象や効果的な方法を考えて整理することができる c：表現の違いによってどのように印象が変わるかについて考えようとしている。	発問 ワークシート 行動観察 実技テスト	実技テスト ワークシート 実習作品	発問 ワークシート 行動観察
二学期	情報デザイン	３．わかりやすい情報デザインの工夫 ４．ポスター制作	a：画像や文字の挿入・加工など，ポスターを制作するためにソフトウェアを操作する技能を身につけている。 b：ソフトウェアを操作し，自分の意図した画像や文字で自分が意図したデザインを表現することができる。 c：企画書やラフスケッチの作成、プレゼンテーションソフトウェアを活用したポスター制作に主体的に取り組もうとしている。 自己評価・相互評価を踏まえ，改善点を主体的に考えている。	発問 ワークシート 行動観察 実習作品	実技テスト ワークシート 実習作品	発問 ワークシート 行動観察 実習作品 相互評価
	情報のデジタル化	１．デジタルデータと2進法 ２．文字・音・画像・動画のデジタル化のしくみ ３．圧縮のしくみ	a：アナログとデジタルの特徴を理解し、文字，音，画像，動画のデジタル化のしくみについて理解する。 b：数を2進法，10進法，16進法で表現することができる。 c：動画のデジタル化のしくみに関心を持ち，実習に主体的に取り組もうとしている。	発問 ワークシート 行動観察 実習作品	実技テスト ワークシート 実習作品	発問 ワークシート 行動観察 実習作品 相互評価

※令和４年度以降入学生用

三学期	情報のデジタル化	１．コンピュータを使わずに 　　情報科学を理解する ２．文字や絵をデジタルデータに変換する	a: CSU を通して，コンピュータで文字や画像を表現するしくみを理解している。 b: CSU で得られた結果について，その原因を考察している。 c: CSU に主体的に取り組み，コンピュータでデータを表現するしくみを理解しようとしている。	発問 ワークシート 行動観察 実習作品	実技テスト ワークシート 実習作品	発問 ワークシート 行動観察 実習作品
	アルゴリズムとプログラム	１．ものごとの手順とアルゴリズム ２．プログラムの構造とプログラミング ３．プログラミング実習	a: アルゴリズムの基本構造を理解する。 b: プログラムがどのような命令で構成されているか考察している。 c: プログラムをよりよくするための工夫について主体的に考えようとしている。	発問 ワークシート 行動観察 実習作品	実技テスト ワークシート 実習作品	発問 ワークシート 行動観察 実習作品 相互評価

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度